

みずほCustomer Desk Report 2020/05/07号 (As of 2020/05/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

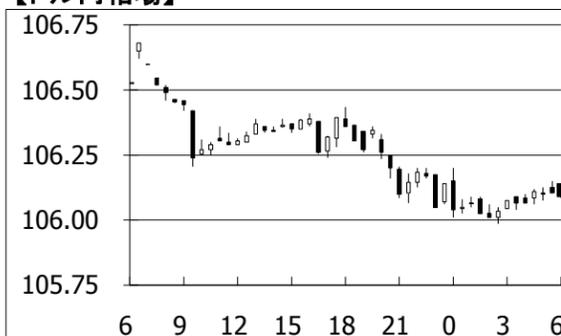
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	106.42	1.0842	115.31	1.2446	0.6435
SYD-NY High	106.68	1.0846	115.47	1.2450	0.6453
SYD-NY Low	105.99	1.0782	114.43	1.2335	0.6394
NY 5:00 PM	106.09	1.0796	114.54	1.2342	0.6405
NY DOW	23,664.64	▲ 218.45	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,854.39	45.27	日本10年債	-	-
S&P	2,848.42	▲ 20.02	米国2年債	0.1794	▲ 0.98bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.3726	▲ 0.16bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.7086	4.75bp
シカゴ日経先物	19,375.00	▲ 170.00	独10年債	-0.5055	7.40bp
ロンドンFT	5,853.76	4.34	英10年債	0.2300	2.55bp
DAX	10,606.20	▲ 123.26	豪10年債	0.9080	2.60bp
ハンセン指数	24,137.48	268.82	USDJPY 1M Vol	7.78	0.10%
上海総合	2,878.14	18.06	USDJPY 3M Vol	8.25	0.11%
NY金	1,686.10	▲ 24.50	USDJPY 6M Vol	8.60	0.15%
WTI	24.09	▲ 0.47	USDJPY 1M 25RR	-1.38	Yen Call Over
CRB指数	121.54	▲ 2.10	EURJPY 3M Vol	9.48	0.20%
ドルインデックス	100.09	0.38	EURJPY 6M Vol	9.91	0.25%

【昨日の指標等】

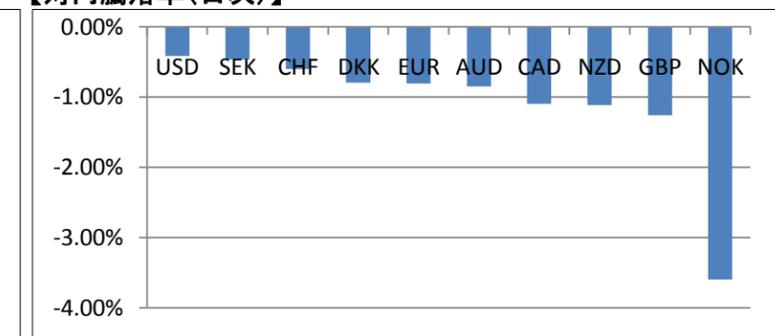
Date	Time	Event	結果	予想
5月6日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	3月 8.5%	8.0%
	15:00	独 製造業受注(前月比)	3月 -15.6%	-10.0%
	16:55	独 マークイットPMI(サービス業・コンジョイント)確報	4月 16.2/17.4	15.9/17.1
	21:15	米 ADP雇用統計	4月 -20236k	-20550k
5月7日	22:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	02:30	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-

Date	Time	Event	予想	前回
5月7日	10:30	豪 貿易収支	3月 A\$6000m	A\$4361m
	15:00	独 鉱工業生産(季調済/前月比)	3月 -7.4%	0.3%
	15:00	英 BOE金融政策決定会合 政策金利	-	0.1%
	16:30	独 マークイット建設業PMI	4月 -	42
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	3000k

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 米中対立が再度ドル円の上値抑えるか

今年のゴールデンウィークのドル円相場は高値107.06、安値105.99と値幅は約一元程度の小動きに終始した。本邦においては緊急事態宣言の延長が決定されたが、すでに織り込み済みであり相場への影響は限定的であった。一方欧州においては、4日よりイタリア、スペインにおいて2カ月近く実施されているロックダウンの段階的な解除が始まっており、フランスにおいても11日に外出制限の解除を予定している。また米国では州単位のロックダウン解除が行われ始めており、レストランやショッピングモールなどの一部店舗の再開が始まっている州もある。しかし、経済活動が再開したとしても、2次感染への恐怖感もあり、動きが完全に戻るには、想定以上に時間がかかるとの見方も根強い。

またここ数日話題になっている新型コロナウイルス感染を巡っての米中対立に関して、トランプ大統領は、新型コロナウイルスの発生源について中国湖北省武漢市の研究所であることを示す証拠があると主張し、米中対立が激化する可能性が再度高まりつつある。米国が責任を追及すれば中国が対抗措置を講じる恐れもあり、米中のウイルス戦争に発展する可能性には留意致したい。昨年ゴールデンウィーク明けの5月には米中貿易戦争が激化したことで円高が進行したことは記憶に新しいが、今回についても米中対立が激化するとドル円は再度105円台前半を目指す可能性もあるかと考える。以上のことより、ドル円は引き続き円高方向へのリスクに警戒したい。(大谷)

アジア	アジア時間を106.42レベルでオープンしたドル円は新規材料に乏しい中、朝方106.21まで下落。しかしその後は連休明けに売りが先行した上海総合指数が上昇に転じたこと等を受け、106.39までじり高となって海外時間へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.39レベルでオープン。朝方は新規材料に欠ける中、売り買いが交錯した。正午に、アジア時間の安値の106.21を下抜けると、下落基調が一段加速し106.09円まで売られ、106.11レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2429レベルでオープン。午前に発表された4月の英建設業購買担当者景気指数(PMI)が8.2と、統計開始以来の最低水準となったことを受けて1.2359まで下落。1.2388レベルでNYに渡った。(ロンドン時間14:00)
ニューヨーク	本邦勢がゴールデンウィークで閑散な中、海外市場でユーロ円が115円を割り込む動きにドル円も連れ安となり、106.09まで下落し、106.11レベルでNYオープン。朝方は米4月ADP雇用統計が2023.6万人減と予想(2055万人)程減少しなかったものの、前部分が下方修正され、ドル円の反応は限定的となった。また、米財務省が四半期定例入札で発行する国債の規模を過去最大の960億ドルに引き上げ、20日から20年債入札を再開し、期間が長めの国債の発行を全体的に増やすこと等を明らかにしたが、ドル円に与えた影響は限定的であった。その後は上値の重さが意識され、ユーロ円が下値を試す展開に106.01まで下落する。しばらくは106円割れ手前での推移が続くが、午後に入り105.99まで下落する。午後は下げ渋るものの、上値の重い展開が続く、106.09レベルでクロスした。一方、昨日の独連邦憲法裁判所の判断がユーロの重しとなる中、弱い4月ユーロ圏PMIの結果も加わり、海外市場で4/24以来に1.08を下抜けし、海外市場で1.0782まで下落したユーロドルは、1.0812レベルでNYオープン。朝方は、ドイツ政府がコロナの封じ込め措置を緩和との報道を受け1.0826まで戻すが、ユーロ円が軟調に推移する中、1.0790まで反落する。その後一旦1.0817まで戻す局面もあったものの、ECB内で誰が独連邦憲法裁判所に対して返答するか意見が分かれているとのヘッドラインも伝わり、1.0791まで反落する。終盤に掛けては安値圏での推移が続き、1.0796レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 大谷・上地 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
7	13